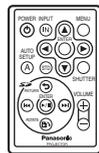
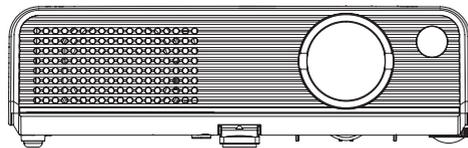


# Panasonic®

液晶プロジェクター 業務用

## 取扱説明書

品番 TH-P1SD



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(4～9ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。  
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電

# もくじ

## はじめに

安全上のご注意	4
付属品を確認する	10
ご使用になる前に	11
はじめにお読みください	13
各部の名前と働き	15
●本体前面・上面	●本体後面・底面
●接続端子部	●本体操作部
●リモコン	●SD操作ボタン

## 準備

設置する	21
●投写方式	●投写関係
●投写距離	
接続する	23
●パソコン	●AV機器
リモコンを準備する	25

## 基本の使い方

電源を入れて投写する	26
電源を切る	28

## 便利な機能

位置を自動補正する (AUTO SETUP)	30
映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)	31
音量を調整する (VOLUME)	31
SDメモリーカードを使う	32
SDメモリーカードの画像を再生する	35
SDメモリーカードの再生方法を詳しく設定する	37
PCレスプレゼン	39

## 調整・設定

オンスクリーンメニューについて	40
●メニュー画面一覧	●メニュー画面の操作方法
●調整値を工場出荷設定に戻す	
映像を調整する	44
●映像モード	●デイトライトビュー
●詳細設定	
画面位置を調整する	46
●台形補正	●画面縦横比
●表示位置	●詳細設定
本体設定	49
●入力自動セットアップ	●TVシステム
●投写方式1	●投写方式2
●高地設定	●ランプ時間
●SXGAモード	●本体ボタン操作
●ノイズリダクション	
表示言語を切り換える	51
セキュリティの設定	52
●設定	●パスワード変更
●SDカードキー1登録/SDカードキー2登録	
●挿入SDカードキー	

## 点検・お手入れ

温度、ランプモニターが点灯したら	54
エアフィルター清掃・交換	56
ランプの交換	57
修理を依頼される前に	60
お掃除とお手入れ	61

## その他

仕様	62
付録	64
●対応信号リスト	●投写寸法の計算式
●DCF規格について	●PC接続時のヘルプ画面について
保証とアフターサービス	68
外形寸法図	裏表紙

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

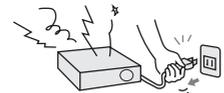
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

## 警告

■煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

## 警告

■使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。



### のぞきこみ注意

使用中にレンズをのぞかないでください。目を痛める原因となります。

「本体に表示した事項」

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は電源プラグを抜いてください。

■カバー、ケースを外したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



### 高圧注意

サービスマン以外の方はケースをあげないでください。

内部には高電圧部分が多くあり万一さわると危険です。

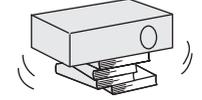
「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落したり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。  
• 修理は販売店にご依頼ください。

■上に水などが入った容器を置かない



禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

## 警告

### ■ 異物を入れない



禁止



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

### ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



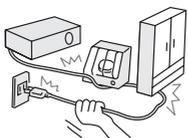
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### ■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### ■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

### ■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

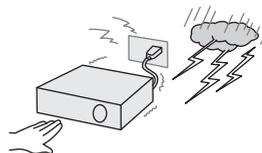
排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から10 cm以上離して設置してください。

### ■ 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

### ■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

## 警告

### ■ 風呂場、シャワー室では使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

### ■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止



感電の原因となります。

### ■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

### ■ 電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

### ■ はずした電池やSDメモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

飲み込むと窒息死の原因となります。

- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

### ■ 電池を廃棄する場合、テープなどで絶縁する



他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。

### ■ ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

### ■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待つて)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

## ⚠ 注意

### ■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

### ■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### ■ 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります。

### ■ 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ■ 指定以外の電池を使用しない



破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ■ 上に重い物を置かない



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### ■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

### ■ 長時間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約2 Wの電力を消費しています。

### ■ ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない



散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

## ⚠ 注意

### ■ 吸気孔や排気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

### ■ 本機に乗らない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

### ■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### ■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

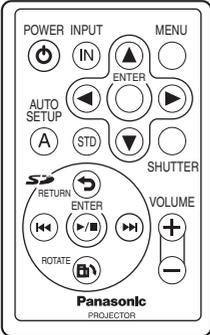
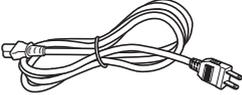
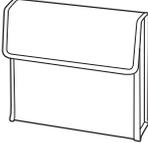
### ■ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする



異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。（本機を電源から完全に遮断するには電源プラグを抜く必要があります。）

# 付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。[ ]は、個数です。

カードリモコン [1] (N2QAYC000001) 	リモコン用リチウム電池 [1] (CR-2025) 	RGB信号ケーブル [1] (1.8 m VGA用、 K1HA15DA0002) 
	電源コード [1] (K2CA2DR00003) 	ソフトケース [1] (TPEP017) 

## 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

JIS C 61000-3-2 適合品

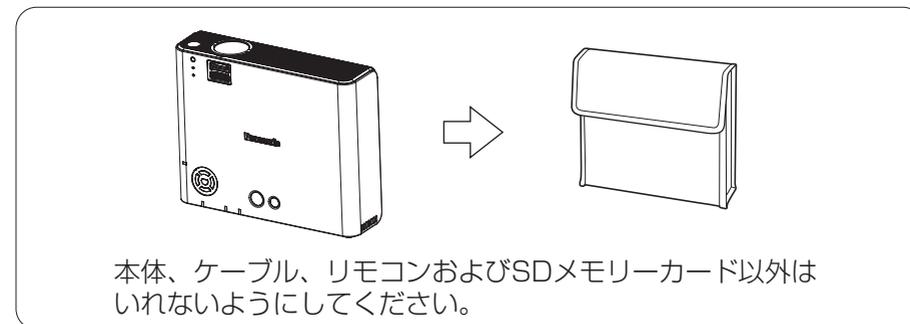
本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

# ご使用になる前に

## 運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズカバーを装着済みか確認し、付属のソフトケースを利用してください。

ソフトケースには、本体のレンズを上側にして収納してください。



## 設置に関する留意点

**振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**

内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

エアコンの吹き出し口の近くなど、温度変化が激しい場所に設置しないでください  
ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

**高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**

妨害を受ける場合があります。

**本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください**

別売りの天つり金具(品番：ET-PKP1)をお買い求めのうえ、取り付け工事を  
専門の技術者にご依頼ください。

海拔1 400 m以上でのご使用に際しては、50ページの「高地設定」を「オン」  
に設定してください

そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

## 使用上の留意点

### 美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

### 投写レンズやレンズカバーのガラス部分は素手でさわらないでください

投写レンズ面やレンズカバーのガラス部分に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映ります。

### スクリーンについて

スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

### SDメモリーカードスロットについて

本機のSDメモリーカードスロットに異物などを入れないでください。異物を入れたまま別売のSDメモリーカードを挿入すると、損傷の原因となることがあります。

### 液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

### 光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

### ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用や頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。交換時期や交換方法については57ページをご覧ください。

### 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

## はじめにお読みください

本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、「言語設定」と「本体設定」のメニュー画面が表示されます。ご使用になる場所や状況に応じて設定してください。

2回目以降は表示されませんが、メニュー操作で設定を変更できます。

## 言語設定

オンスクリーンメニューを表示させる言語を選択してください。  
(☞ 51ページ)

- ① ▲または▼で表示させる言語を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す
- 画面に言語選択確認画面が表示されます。



- ② もう一度エンター(ENTER)ボタンを押す
- オンスクリーンメニューが選択した言語で表示されます。
  - メニュー(MENU)ボタンを押せば言語選択画面に戻ります。



### お知らせ

- 自動的に「本体設定」のメニュー画面が表示されます。

## 本体設定

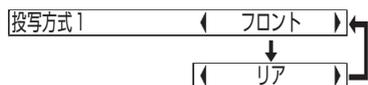
- ① ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ

本体設定	
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア
高地設定	オフ
選択	調整
MENU終了	

- ② ◀または▶を押して設定の切り換えを行う

### 投写方式1

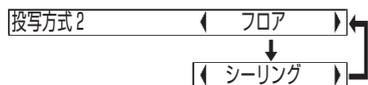
本機の設置方法によって切り換えます。(☞ 21、50ページ)



- 「フロント」スクリーンの前方に設置する場合  
 「リア」透過式スクリーンを使用する場合

### 投写方式2

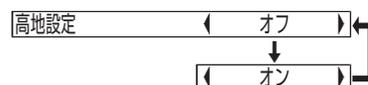
本機の設置方法によって切り換えます。(☞ 21、50ページ)



- 「フロア」机の上などに設置する場合  
 「シーリング」天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

### 高地設定

海拔1 400 m以上でのご使用の場合のみ、「オン」に設定してください。(☞ 50ページ)

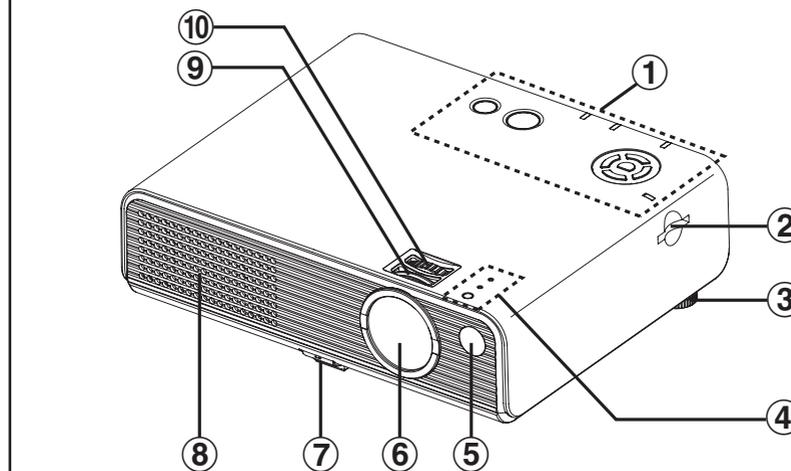


### お知らせ

- メニュー (MENU) ボタンを押すと設定が終了します。

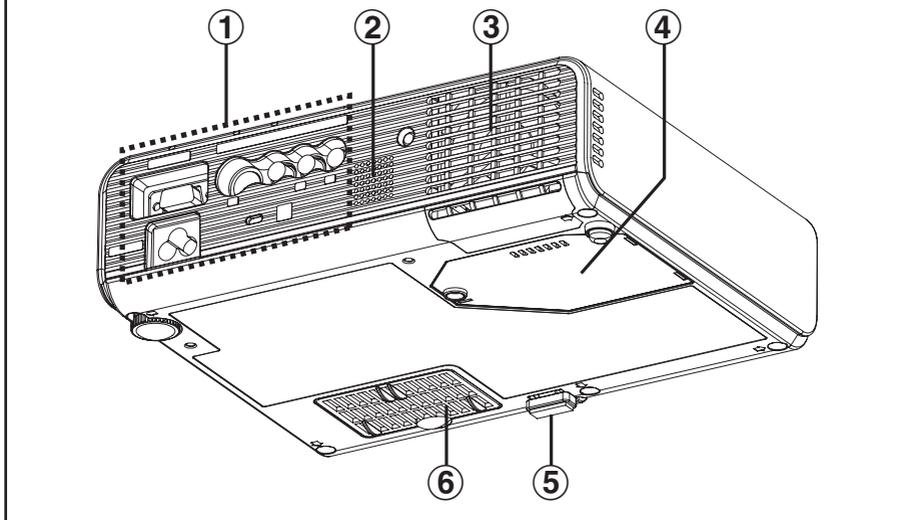
## 各部の名前と働き

### 本体前面・上面



- ① 本体操作部**  
(☞ 18ページ)
- ② SDメモリーカードスロット**  
(☞ 33ページ)
- ③ 後方アジャスター脚**  
(☞ 27ページ)
- ④ センサー・モニター部**  
(☞ 18ページ)
- ⑤ リモコン受光部**  
(☞ 25ページ)
- ⑥ レンズカバー**  
(☞ 61ページ)  
レンズカバーは取り付けたままご使用ください。
- ⑦ アジャスターボタン**  
(☞ 27ページ)  
本機底面の前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。
- ⑧ 吸気孔**  
ふさがないようにしてください。
- ⑨ フォーカスリング**  
(☞ 27ページ)
- ⑩ ズームリング**  
(☞ 27ページ)

## 本体後面・底面



## ① 接続端子部

(☞ 17ページ)

## ② スピーカー

## ③ 排気孔

ふさがないようにしてください。

## ④ ランプユニット収納部

(☞ 58ページ)

## ⑤ 前方アジャスター脚

(☞ 27ページ)

## ⑥ 吸気孔、エアフィルター

(☞ 56ページ)

ふさがないようにしてください。



## 警告

## ■ 排気孔には手や物を近づけない

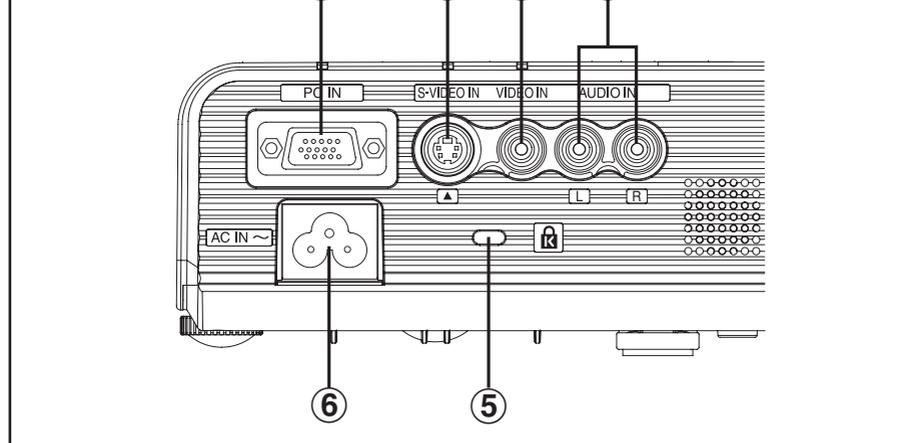


禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から10 cm以上離して設置してください。

## 接続端子部



## ① パソコン入力(PC IN)端子 (☞ 23、24ページ)

PC信号またはYPbPr信号を入力する端子です。

## ② Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子 (☞ 24、47ページ)

Sビデオ対応のDVDプレーヤーなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えします。

## ③ ビデオ入力(VIDEO IN)端子 (☞ 24ページ)

ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。

## ④ 音声入力(AUDIO IN L-R)端子 (☞ 23、24ページ)

## ⑤ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。問い合わせ先は以下の通りです。

## 日本ポラデジタル株式会社

## 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

※問い合わせ先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

## ⑥ AC入力(AC IN)端子 (☞ 26ページ)

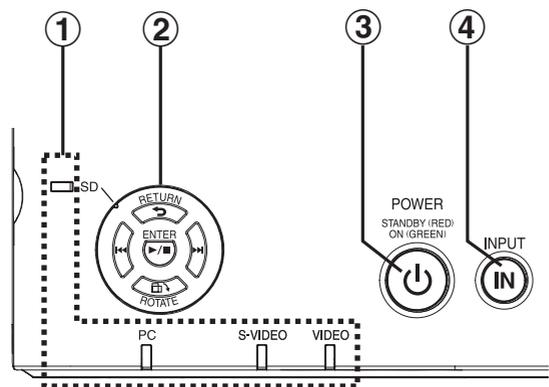
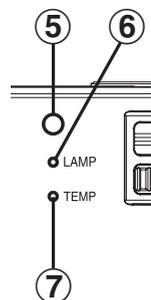
付属の電源コードを接続します。

付属のもの以外は接続しないでください。

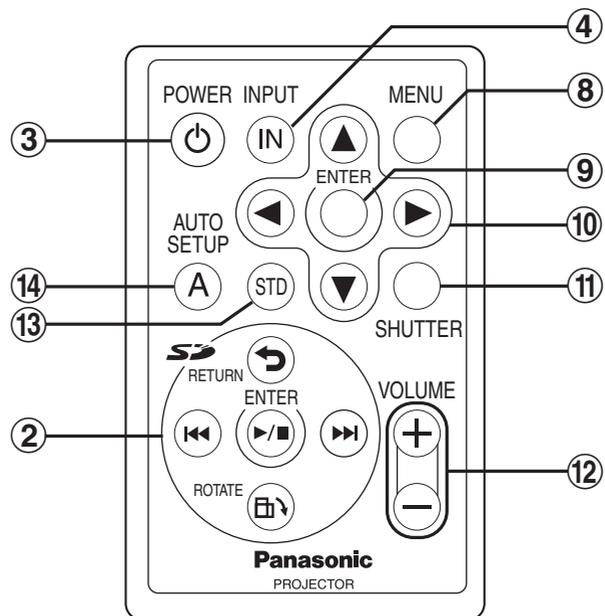
## お知らせ

- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、外気温によって動作音が変わることがあります。ランプ点灯時や消灯時には、動作音が大きくなります。

## 本体操作部

センサー・モニター部  
(本体上面部:  
☞ 15ページ)

## リモコン



## ① 入力モニター

入力切換えボタンで選択した端子に信号が入力されているとき、点灯します。信号が入力されていないか、非対応の信号が入力されているとき、該当するモニターが点滅します。

## ② SD操作ボタン (☞ 20ページ)

SD用選択画面を表示したときの操作に使用します。

## ③ 電源(POWER)ボタン (☞ 26、28、29ページ)

スタンバイ状態時は赤色に点灯し、投写を開始すると緑色に点灯します。

## ④ 入力切り換え(INPUT)ボタン (☞ 27ページ)

接続した機器の入力信号を切り換えます。

## ⑤ 照度センサー (☞ 44ページ)

デライトビュー動作時に明るさを検知します。本機の上に物を置いたり、本機を覆わないでください。

## ⑥ ランプ(LAMP)モニター (☞ 55ページ)

ランプユニットの交換時期になると点灯します。  
ランプ回路に異常が発生すると点滅します。

## ⑦ 温度(TEMP)モニター (☞ 54ページ)

周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。  
一定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。

## ⑧ メニュー(MENU)ボタン (☞ 40、42ページ)

メインメニューを表示させます。メニューが表示されているときは、前の画面に戻したり、メニューを消せます。

## ⑨ エンター(ENTER)ボタン (☞ 42ページ)

オンスクリーンメニューの項目を実行します。

## ⑩ ▲▼◀▶ ボタン (☞ 42ページ)

オンスクリーンメニューの項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行います。

## ⑪ シャッター(SHUTTER)ボタン (☞ 31ページ)

映像と音声を一時的に消すことができます。

## ⑫ 音量(VOLUME +/-)ボタン (☞ 31ページ)

内蔵スピーカーの音量を調整します。

## ⑬ スタンダード(STD)ボタン (☞ 43ページ)

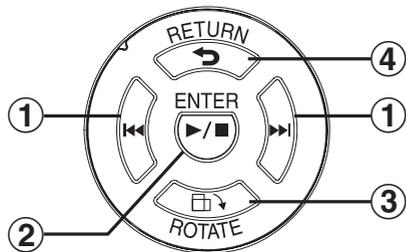
調整値を工場出荷状態に戻します。

## ⑭ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン (☞ 27、30ページ)

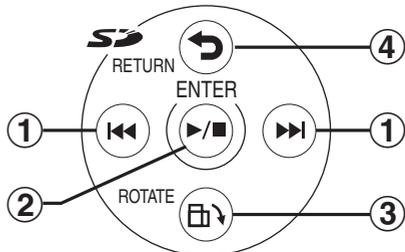
PC信号を入力時に映像を投写しながらこのボタンを押せば、位置、ドットクロック、クロックフェーズを自動調整します。

## SD操作ボタン

(本体操作部：☞ 18ページ)



(リモコン：☞ 18ページ)



### ① SD ◀/▶ ボタン

SD用選択画面を表示しているときに、フォルダやファイルを選択します。拡大再生しているときには、前後のファイルに切り換えます。また ▶▶ ボタンを長押しすると、スライドショーを開始したり、終了します。

### ② SD決定 (SD ENTER) ボタン

フォルダやファイルの選択を実行します。

### ③ SD回転 (SD ROTATE) ボタン

押すたびに拡大再生している静止画を右に90度ずつ回転させます。

### ④ SD戻る (SD RETURN) ボタン

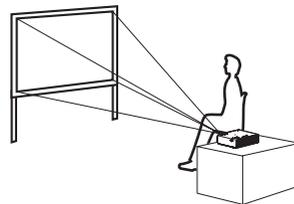
前の画面に戻します。

# 設置する

## 投写方式

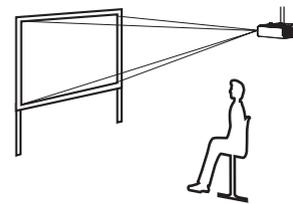
本機は、下図の4通りの投写方式が選択可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定は「本体設定」メニューで行うことができます。☞ 50ページ)

### • 床置き前方投写



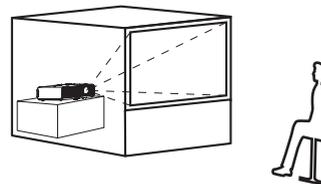
メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア

### • 天つり前方投写



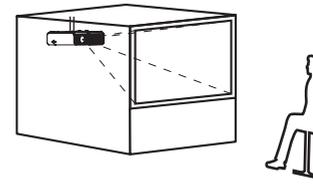
メニュー項目	設定値
投写方式1	フロント
投写方式2	シーリング

### • 床置き後方投写 (透過スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	フロア

### • 天つり後方投写 (透過スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
投写方式1	リア
投写方式2	シーリング

### お知らせ

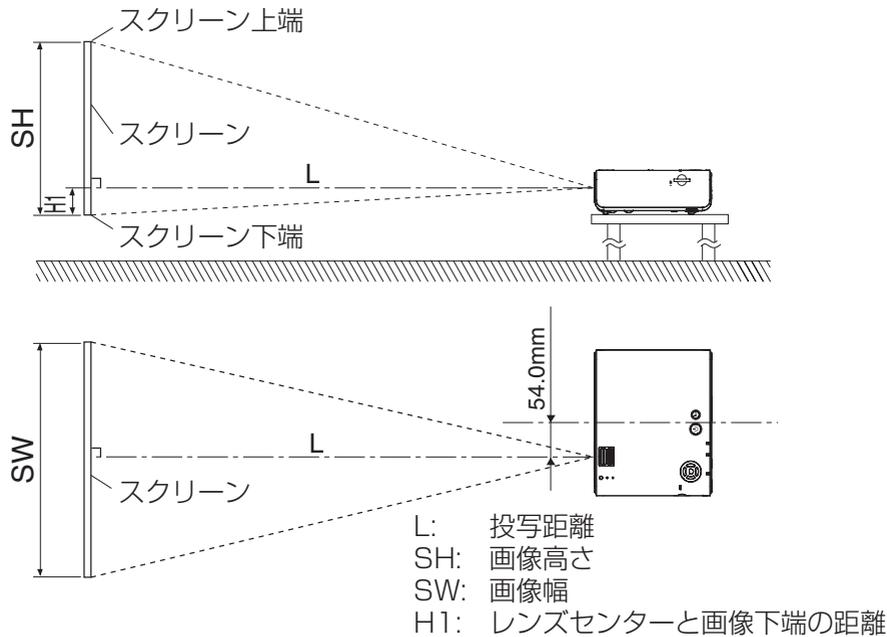
- 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(ET-PKP1)が必要です。

### お願い

- 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾ける場合は、前後±30度以内の設置をおすすめします。本機を前後±30度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

# 接続する

## 投写関係



## 投写距離

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)		高さ位置(H1)
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)	
40	0.61 m	0.81 m	-	1.2 m	0.13 m
45	0.68 m	0.91 m	1.3 m	1.4 m	0.15 m
50	0.76 m	1.02 m	1.4 m	1.6 m	0.17 m
60	0.91 m	1.22 m	1.7 m	1.9 m	0.20 m
70	1.07 m	1.42 m	2.0 m	2.2 m	0.23 m
80	1.22 m	1.63 m	2.3 m	2.6 m	0.26 m
90	1.37 m	1.83 m	2.5 m	2.9 m	0.30 m
100	1.52 m	2.03 m	2.8 m	3.2 m	0.33 m
120	1.82 m	2.44 m	3.4 m	3.9 m	0.40 m
150	2.29 m	3.05 m	4.2 m	4.9 m	0.50 m
200	3.05 m	4.06 m	5.6 m	6.6 m	0.66 m
250	3.81 m	5.08 m	7.0 m	8.2 m	0.83 m
300	4.57 m	6.10 m	8.4 m	9.9 m	0.99 m

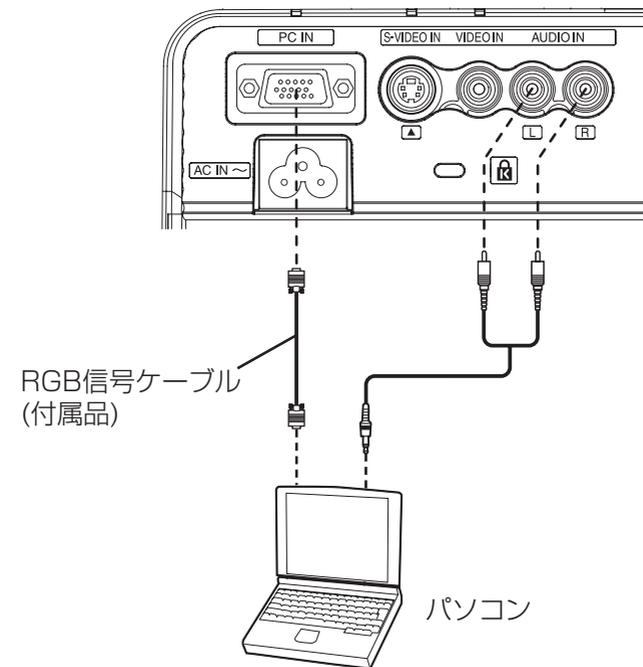
### お知らせ

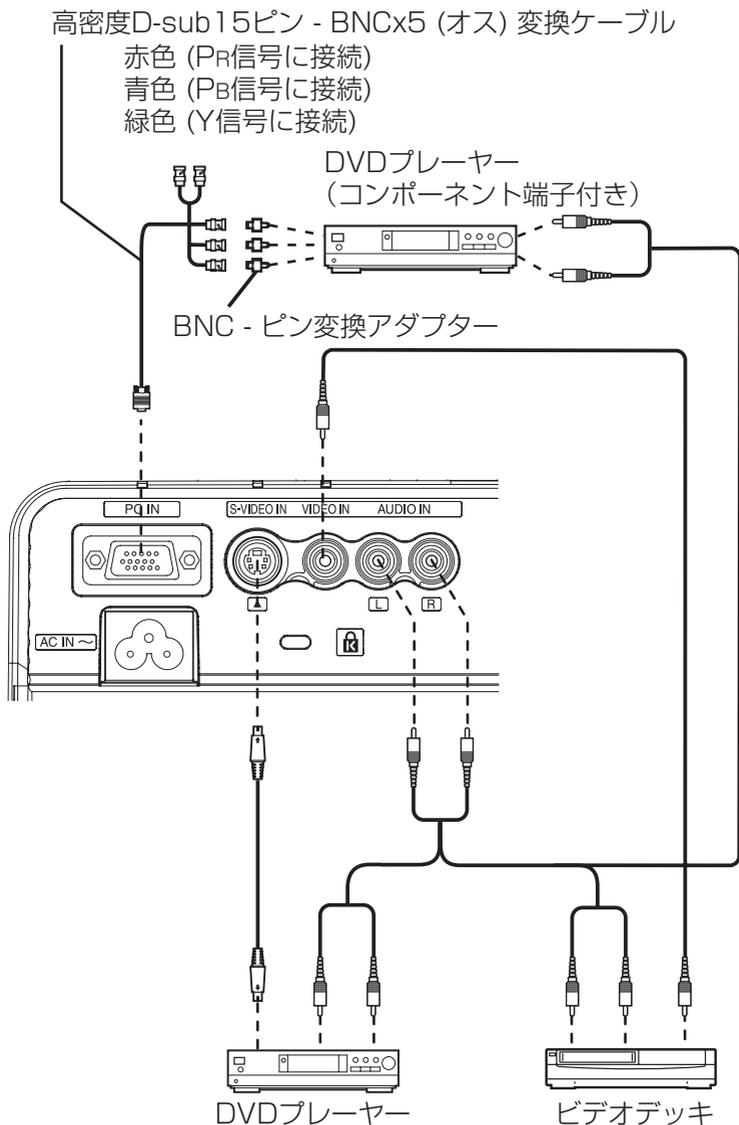
- 上記の表の寸法は若干の誤差があります。
- 詳細な投写距離が必要な場合は、65ページをご覧ください。

## 接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター(TBC)の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、64ページの対応信号リストをご覧ください。
- 音声入力(AUDIO IN L-R)端子は、1系統です。複数の機器を接続される場合は差し換えてご使用ください。

## パソコン





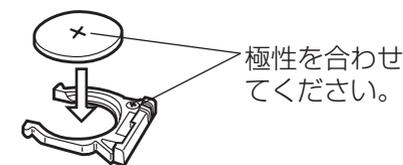
# リモコンを準備する

付属のリチウム電池を極性に注意して入れてください。

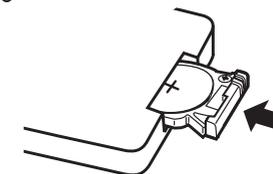
① 電池ホルダーのツメを左側に押しながら手前に引き出す。



② +側を上にして、電池を電池ホルダーにのせる。



③ 電池ホルダーを挿入する。



## お願い

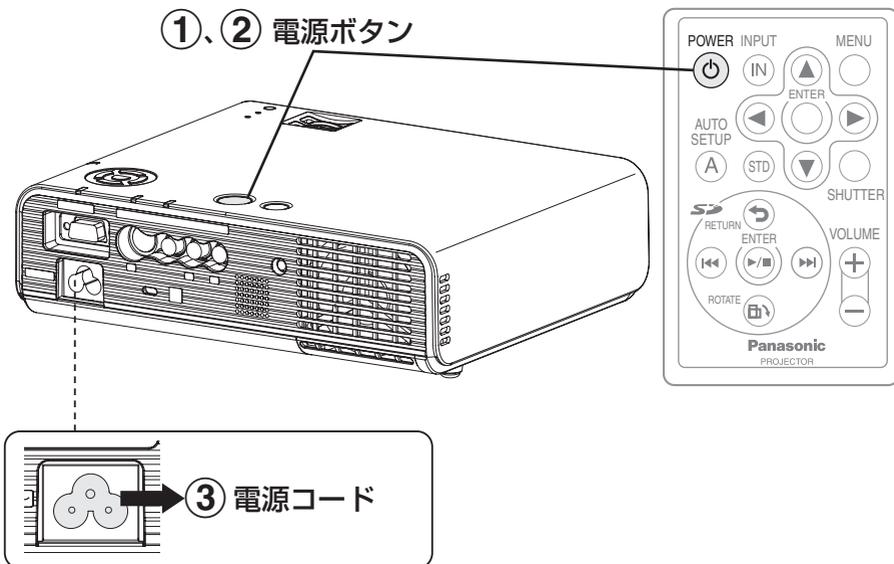
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- 交換用の電池は、CR2025をお求めください。

## お知らせ

- リモコンを直接、本機の前面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。
- リモコンのボタンを押したままにしていると、電池の消耗が早くなります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、本機が誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- リモコンの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。



# 電源を切る



- ① (POWER) 電源ボタンを押す。  
● 画面に電源OFF確認画面が表示されます。

電源OFFします

[POWER] 実行

- ② (POWER) もう一度、電源ボタンを押す。  
● ランプが消え映像の投写が停止します。  
(冷却ファンは回転したまま、電源ボタンがオレンジ色に点灯します。)

● 電源 (POWER) ボタン以外のボタンを押すか、約5秒たつと電源OFF確認画面が消えます。

- ③ 電源ボタンが赤色に点灯したら、電源コードを抜く。

## お知らせ

- 電源 (POWER) ボタンを0.5秒以上押しでも電源を切ることができます。

## ダイレクトパワーオフ機能

投写中や電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので、すぐに移動させることができます。

- 電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。
- 電源ボタンが点灯している間はソフトケース等に入れないでください。

## お知らせ

- SDメモリーカードのファイルを拡大再生しているときは、電源コードを抜かないでください。

## 電源ボタンについて

点灯状況		本機の状態
赤色	点灯	電源 (POWER) ボタンで映像投写可能なスタンバイ状態。
緑色	点滅	赤色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)
	点灯	映像投写状態。
オレンジ色	点灯	電源オフ後、またはダイレクトパワーオフ動作中のランプの冷却状態。
	点滅	オレンジ色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。(しばらくすると映像を投写します。)

## ⚠ 注意

### ■ 長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約2 Wの電力を消費しています。

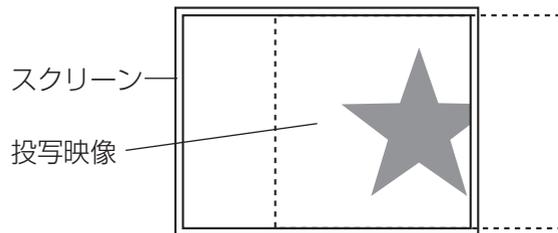
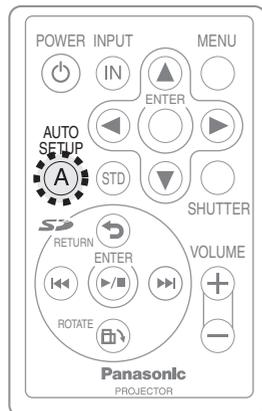
## 位置を自動補正する (AUTO SETUP)

本機はPC信号入力時、「画像位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。

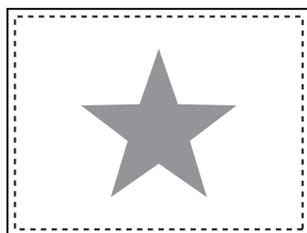
(AUTO SETUP)

オートセットアップボタンを押す。

(PC信号の映像を投写中にオートセットボタンを押す。)



● 自動位置補正を行います。



### お知らせ

- ドットクロック100 MHz以上の信号のとき、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は、自動設定されません。(P.48ページ)
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押してください。

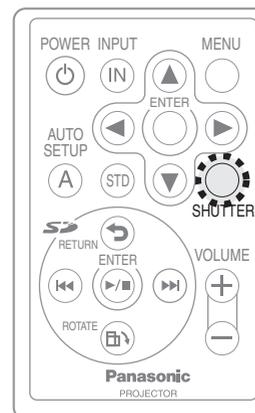
## 映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。

(SHUTTER)

シャッターボタンを押す。

- 映像と音声が消えます。
- リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

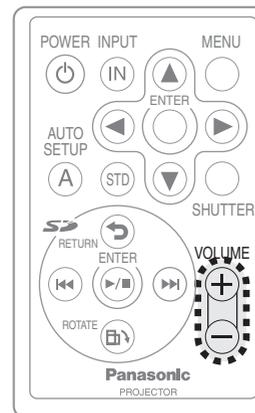


## 音量を調整する (VOLUME)

(VOLUME)

音量(+、-)ボタンを押す。

- +ボタン ……音量大きくします。
- -ボタン ……音量小さくします。



# SDメモリーカードを使う

## SDメモリーカード(別売品)について

24 mm×32 mm×2.1 mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD(ミニディスク)、CD(コンパクトディスク)に代わる次世代の記録媒体です。また、データの読み書きや削除を繰り返すことができます。本機では、デジタルカメラで撮影した静止画データ、動画データ、またはImageCreator 1.5で変換したプレゼンテーションデータを再生することができます。

### SDメモリーカード使用上のお願い

- ファイルを拡大再生しているときは、電源コードを抜いたり、SDメモリーカードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。
- miniSD™カードを本機で使用する場合は、専用のminiSD™アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™アダプターだけを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ずminiSD™カードを入れてお使いください。また、取り出すときもminiSD™アダプターを装着したまま取り出してください。
- マルチメディアカードの本機での使用については保証いたしません。
- SDメモリーカード内のデータは必ずバックアップをお取りください。場合によっては、お客様の大切なデータを破壊することがあります。
- SDメモリーカードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

## 本機で再生できるデータについて

(DCF規格のフォルダ名、ファイル名のみ認識します。DCF規格については66ページをご参照ください。)

### ■再生できる静止画データ

静止画ファイルのフォーマットは、Exif2.2準拠のJPEGです。

- 当社製デジタルカメラ「LUMIX」で撮影した静止画。
- ImageCreator 1.5で変換された静止画データ。

### ■再生できる動画データ

動画ファイルのフォーマットは、QuickTime Motion JPEGです。

- 当社製デジタルカメラ「LUMIX」で撮影した動画。

## ImageCreator 1.5について

ImageCreator 1.5はMicrosoft PowerPoint®で作成したプレゼンテーションファイルをページ単位で、本機で再生可能な静止画データに変換するソフトウェアです。ImageCreator 1.5は以下のホームページからダウンロードできます。

<http://panasonic.biz/projector>

詳しい操作方法はImageCreator 1.5の取扱説明書を上記ホームページよりダウンロードし、ご確認ください。

### お知らせ

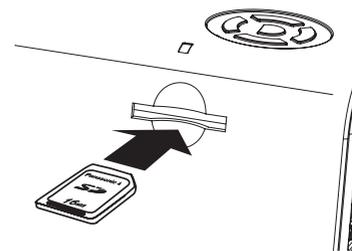
- 本機の使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## SDメモリーカードを入れる・取り出す

### SDメモリーカードを入れる

- ① SDメモリーカードのラベル面を上にし、「カチッ」と音がするまで奥まで差し込む。

- 入力信号が自動的に「SD」に切り換わります。また本機がスタンバイ状態のときは自動的にランプが点灯した後、入力信号が「SD」に切り換わります。

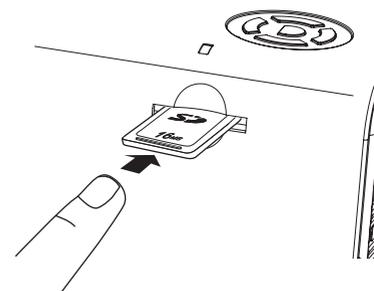


### お知らせ

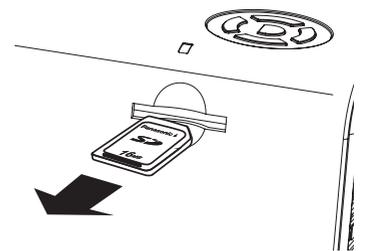
- 間違った向きでSDメモリーカードを無理に挿入すると、故障の原因となることがあります。

### SDメモリーカードを取り出す

- ① 右図の矢印部分を「カチッ」と音がするまで押す。



- ② SDメモリーカードをまっすぐ引き抜く。

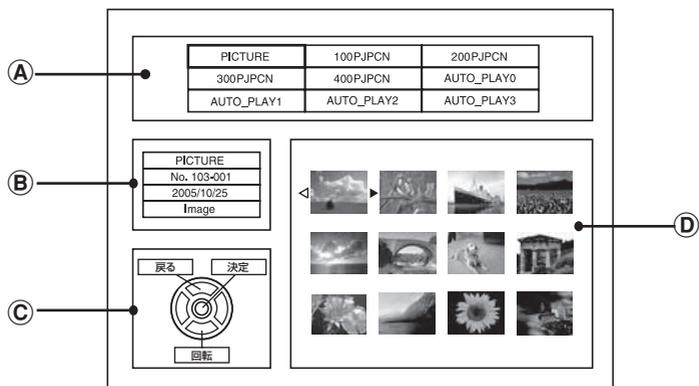


### お知らせ

- SDメモリーカードを抜く前に、必ず拡大再生中(☞36ページ)でないことを確認してください。拡大再生中にSDメモリーカードを抜くと、SDメモリーカード内のデータが破壊されることがあります。

# SD用選択画面

SDメモリーカードを挿入すると、SD用選択画面が表示されます。  
 (「SDピクチャー設定」メニューの「モード」の設定によっては、拡大再生画面に切り換わります。☞ 37ページ)  
 SD用選択画面、拡大再生画面が表示されているときは、SD操作ボタン(☞ 20ページ)を使用してください。



## Ⓐ：フォルダー一覧

SDメモリーカードに保存されているフォルダ名の一覧が表示されます。

### お知らせ

- 当社製デジタルカメラ「LUMIX」で撮影された静止画や動画ファイルはフォルダ名「PICTURE」にまとめられています。

## Ⓑ：フォルダ・ファイル情報

上から、フォルダの種類、フォルダ・ファイル番号、日付情報、ファイルの種類を表示します。

### フォルダの種類

「PICTURE」 当社製デジタルカメラ「LUMIX」で撮影した静止画や動画を保存したフォルダです。

「PRESENTATION」 ImageCreator 1.5で作成したプレゼンテーション用のファイルを保存しているフォルダです。DCF規格に基づいたフォルダ名(3桁の数字とそれに続く「PJPCN」で構成されています。)がつけられています。

「DPOF」 デジタルカメラ側でスライド再生する画像などを設定したフォルダです。対応しているデジタルカメラで設定できます。DPOF設定したファイルは「PICTURE」フォルダ以外にフォルダ名「AUTO\_PLAY#」(「AUTO\_PLAY」に続く1桁の数字で構成されています。)にまとめられます。

### フォルダ・ファイル番号

選択したファイルのフォルダ(3桁)-ファイル(4桁)番号が表示されます。

### 日付情報

選択したファイルの作成日時が表示されます。

### ファイルの種類

「Image」 静止画ファイルです。

「Movie」 動画ファイルです。

## Ⓒ：操作ガイド

現在操作できるボタンを表示します。

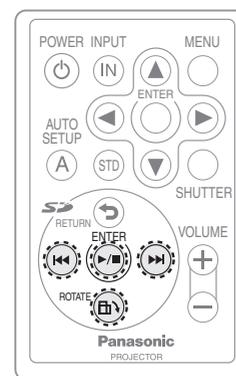
## Ⓓ：画像一覧

選択したフォルダの画像一覧をサムネイル表示します。

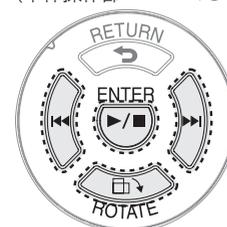
### お知らせ

- データが壊れているなどの理由でサムネイルを表示できないファイルは「？」と表示されます。
- 画像ファイルにサムネイルが埋め込まれていないときは、表示に時間がかかる場合があります。
- ファイルが動画のときは、動画の最初の画面が表示されます。

# SDメモリーカードの画像を再生する

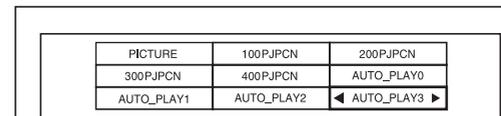


(本体操作部：☞ 18ページ)



## ① SD◀/▶ボタンでフォルダを選択する。

- サムネイルが表示されます。(34ページⒹ)
- フォルダが9個以上あるときは、右下の最後のフォルダを選択中にSD▶ボタンを押すと、9フォルダずつ表示が切り換わります。



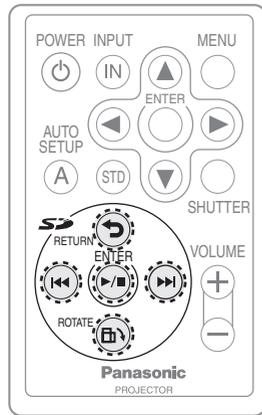
- フォルダが表示されないときは、フォルダ名がDCF規格外の可能性があります。SD回転(SD ROTATE)ボタンを押してヘルプ画面を表示してください。ヘルプ画面でSD操作ボタンのいずれかを押すとSD選択画面に戻ります。

## ② SD決定(SD ENTER)ボタンを押す。

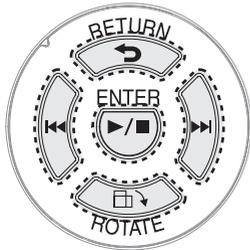
- カーソルが画像一覧に移動します。

# SDメモリーカードの再生方法を詳しく設定する

SDメモリーカードの画像表示についての設定は、メニュー操作によって行います。

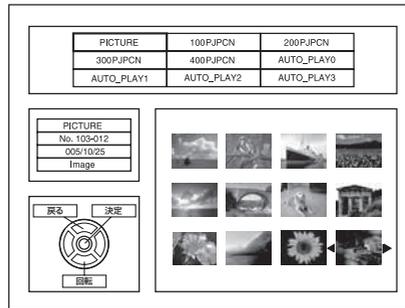


(本体操作部：18ページ)



## ③ SD ◀▶ ボタンで再生したいファイルを選択する。

- サムネイルが12枚以上あるときは、右下の最後のサムネイルを選択中にSD ▶▶ ボタンを押すと、12枚ずつ表示が切り換わります。
- SD戻る (SD RETURN) ボタンを押すとフォルダ選択に戻ります。



## ④ SD決定 (SD ENTER) ボタンを押す。

- 選択したファイルが拡大再生されます。
- 動画を選択したときは、動画の再生を開始します。
- 静止画を選択して「SDピクチャー設定」の「自動再生」を「オン」に設定しているときは、スライドショーを開始します。(38ページ)。
- 記録画素数が6M (600万画素相当) 以上、またはワイド設定で2M (200万画素相当) 以上の写真は正確に拡大再生できない場合があります。画素数の大きい写真は、あらかじめImageCreator 1.5で画素数を間引くことで本機に最適な写真をお楽しみ頂けます。

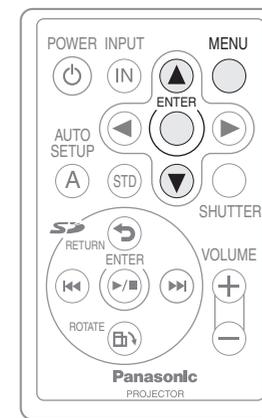


### 拡大再生中のボタン操作

- ファイル切り換え SD ◀▶ ボタンで切り換えます。
- スライドショー開始/終了 SD ▶▶ ボタンを3秒以上押します。
- 静止画の回転 SD回転 (SD ROTATE) ボタンを押すごとに、右に90° ずつ回転させます。
- SD選択画面に戻る SD戻る (SD RETURN) ボタンを押します。

#### お知らせ

- 動画の早送り/巻き戻し/一時停止はできません。

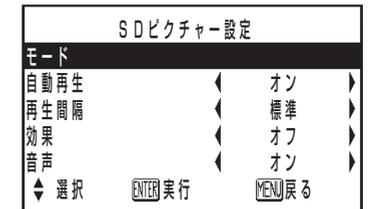


## ① リモコンのメニュー (MENU) ボタンを押す。



## ② リモコンの▲▼ボタンで「SDピクチャー設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。

- 「SDピクチャー設定」メニューが表示されます。



## ③ リモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を切り換える。

- 項目名だけの項目はエンター (ENTER) ボタンを押して次のメニュー画面を表示させます。

### モード

SDメモリーカードを挿入したとき、表示される画面を設定します。



◀▶ ボタンで、設定を変更します。

「プレゼンテーション」 PCレスプレゼン用のモードです。SDメモリーカード内にPRESENTATIONフォルダが1つだけあるとき、フォルダ内の最初の画像を拡大再生して停止します。PRESENTATIONフォルダが複数あるときは、SD用選択画面を表示します。(34ページ)

「マニュアル」

SD用選択画面を表示します。

便利な機能

## 自動再生

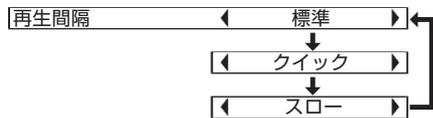
SD用選択画面から静止画を拡大再生したときの動作を設定します。

「オン」 同じフォルダにあるファイルを、順番にスライドショーします。

「オフ」 選択したファイルのみ拡大再生します。

## 再生間隔

スライドショーするときの、一画面あたりの表示時間を設定します。



「標準」 約10秒間。

「クイック」 約5秒間。

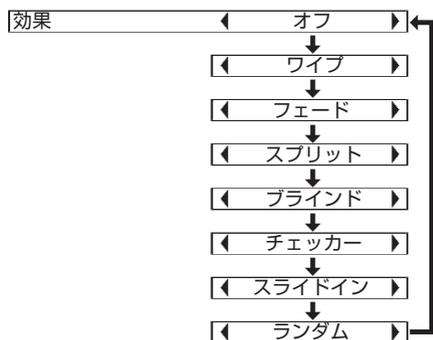
「スロー」 約30秒間。

### お知らせ

- 画像によっては表示されるまでに時間がかかる場合があります。この場合は再生間隔が設定時間以上に長くなる場合があります。

## 効果

静止画をスライドショーするときの切り換え効果を設定します。



「オフ」

切り換え効果を使用しません。

「ワイブ」

左から新しい静止画に切り換わっていきます。

「フェード」

徐々に暗くなり、新しい静止画が表れてきます。

「スプリット」

中央から縦に2つに分かれて、そこから新しい静止画に切り換わります。

「ブラインド」

ブラインドを開くように細かく分かれて切り換わります。

「チェッカー」

小さなブロックごとに前の静止画が消えて切り換わります。

「スライドイン」

次の静止画が左からスライドしてきて切り換わります。

「ランダム」

静止画が切り換わるごとに、様々な切り換え効果をランダムに選択します。

## 音声

音声つきファイルを再生するときの音声を設定します。

「オン」

音声つきファイルを再生するとき、音声を再生します。

「オフ」

音声つきファイルを再生するとき、音声を再生しません。

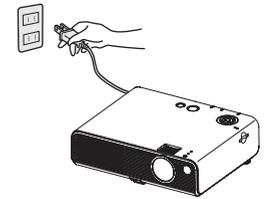
# PCレスプレゼン

本機はパソコンを使用せずにスマートなプレゼンテーションを行うことができるように設計されています。PCレスプレゼンは以下の手順で行ってください。

準備

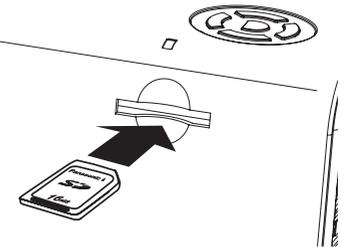
- ① ImageCreator 1.5でMicrosoft PowerPoint®のプレゼンテーションファイルを本機で再生可能な静止画データに変換する。
- ② SDメモリーカードにImageCreator 1.5で作成したプレゼンテーション用のPRESENTATIONフォルダを1つだけ保存する。
- ③ 「SDピクチャー設定」の「モード」を「プレゼンテーション」に設定する。  
([P.37](#)ページ)

- ① AC入力端子に電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



- ② SDメモリーカードスロットに準備したSDメモリーカードを差し込む。

- 自動的にランプが点灯して投写を開始し、プレゼンテーションファイルの1ページ目を拡大再生した状態で停止します。



### お知らせ

- SDメモリーカードに複数のPRESENTATIONフォルダがあるときは、SD選択画面が表示され、任意のPRESENTATIONフォルダを選択できます。

- ③ 拡大再生中のボタン操作を行う。  
([P.36](#)ページ)

便利な機能

# オンスクリーンメニューについて

## メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

### メインメニュー

メインメニュー	
映像調整	
位置調整	
本体設定	
言語設定	
セキュリティ設定	
SDピクチャー設定	
選択	ENTER 実行 MENU 終了

メニュー (MENU) ボタンを押すとメインメニュー画面が表示されます。メニュー画面の操作方法については、42ページをご覧ください。



### 映像調整 (44ページ)

映像調整	
映像モード	スタンダード
デイトライトビュー	自動
詳細設定	
選択	調整 MENU 戻る

詳細設定	
コントラスト	32
明るさ	32
色調整	
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

「色調整」は、Sビデオ/ビデオ/YPBPr信号入力時のみ表示されます。

### 位置調整 (46ページ)

位置調整	
台形補正	
画面縦横比	4:3
表示位置	
詳細設定	
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

- SD信号入力時は「台形補正」のみ表示されます。
- 「画面縦横比」はPC信号入力時には表示されません。

### 本体設定 (49ページ)

本体設定	
入力自動セットアップ	オン
TVシステム	自動
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア
高地設定	オフ
ランプ時間	10時間
SXGAモード	SXGA
本体ボタン操作	有効
ノイズリダクション	オフ
選択	調整 MENU 戻る

- 「TVシステム」は、Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ表示されます。
- 「SXGAモード」は、PC(SXGA)信号入力時のみ表示されます。

### セキュリティ設定 (52ページ)

セキュリティ設定	
設定	オフ
パスワード変更	
SDカードキー-1登録	
SDカードキー-2登録	
挿入SDカードキー	1
選択	調整 MENU 戻る

### PC/YPBPr信号入力時

詳細設定	
ドットクロック	32
クロックフェーズ	16
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

「ドットクロック」はYPBPr信号入力時には表示されません。

### Sビデオ/ビデオ信号入力時

詳細設定	
静止面モード	オフ
調整	MENU 戻る

### 言語設定 (51ページ)

言語設定	
ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANÇAIS	
ESPAÑOL	
ITALIANO	
PORTUGUÊS	
РУССКИЙ	
日本語	
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

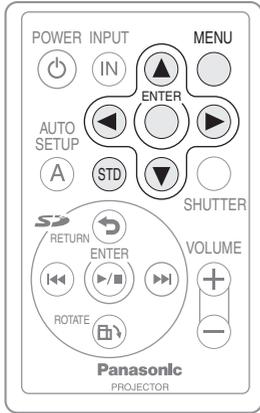
言語設定	
SVENSKA	
NORSK	
DANSK	
POLSKI	
ČEŠTINA	
MAGYAR	
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

### SDピクチャー設定 (37ページ)

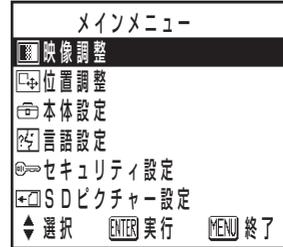
SDピクチャー設定	
モード	
自動再生	オン
再生間隔	標準
効果	オフ
音声	オン
選択	ENTER 実行 MENU 戻る

調整・設定

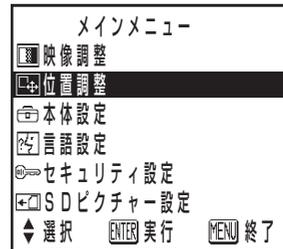
## メニュー画面の操作方法



- (MENU)
- ① メニューボタンを押す。**  
●メインメニュー画面を表示します。

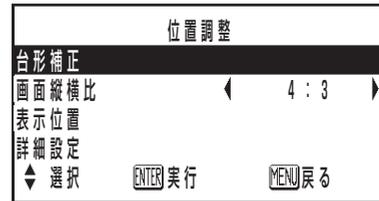


- ② ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。**  
●選択中の項目は青色で表示します。



- (ENTER)
- ③ エンターボタンを押して決定する。**  
●選択したメニューが表示されます。

(例：位置調整)



### お知らせ

- メニュー画面が表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。

- ④ ▲または▼ボタンを押して項目を選び、◀または▶を押して設定の切り換えを行う。またはエンター (ENTER) ボタンを押して、次のメニュー画面に進んでください。**

バースケールの項目は、下図のような個別調整画面が表示されます。  
(例：ドットクロック)



調整値が工場出荷状態以外になるとバースケールが緑色になります。

表示されないオンスクリーン項目について

入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が表示されず、エンター(ENTER)ボタンを押しても実行できません。

## 調整値を工場出荷設定に戻す

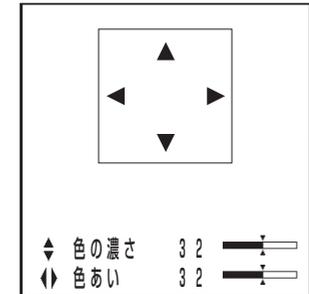
リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

- メニュー画面表示時



選択されている項目が工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色表示になります。

- 個別調整画面表示時



表示されている項目が工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色表示になります。

### お知らせ

- バースケールの上下の三角マークは、工場出荷状態を示しています。

工場出荷時の標準値を示しています。

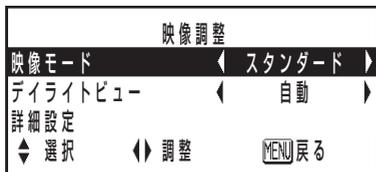


現在の調整値を示しています。

# 映像を調整する

リモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

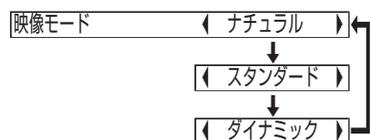
項目名だけの項目はエンター(ENTER)ボタンを押して次のメニュー画面を表示させます。バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。



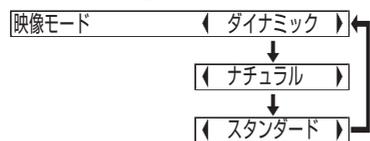
## 映像モード

映像ソースや視聴環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。

Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時



PC信号入力時



SD信号入力時



- 「ナチュラル」 暗い部屋で使用する場合に設定してください。
- 「スタンダード」 標準的な明るさで使用する場合に設定してください。
- 「ダイナミック」 明るい場所で使用する場合に設定してください。
- 「フォト」 SDメモリーカードの写真を表示する場合に設定してください。
- 「自動」 自動的に最適な映像モードに切り換わります。

## デイトライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。



- 「自動」 室内照明に応じて映像の鮮やかさを補正します。
- 「オフ」 デイトライトビューを無効にします。

### お知らせ

- プロジェクターの上面に物を置きますと「自動」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「デイトライトビュー」は「本体設定」の「投写方法1」で「リア」を選択した場合は、設定できません。

## 詳細設定

映像全体の画質を細かく調整できます。エンター(ENTER)ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。



## コントラスト

色の明暗度を調整します。(「明るさ」を先に調整してください。)

- 明るい場合： ◀ボタン
- 暗い場合： ▶ボタン

## 明るさ

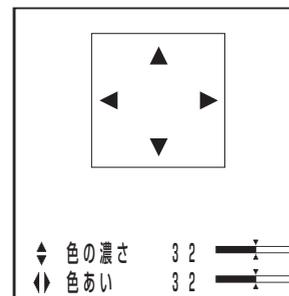
画面の暗い部分(黒色)を調整します。

- 黒が浮いている場合： ◀ボタン
- 黒がつぶれている場合： ▶ボタン

## 色調整

[Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時のみ]

映像全体の色を調整します。エンター(ENTER)ボタンを押すと調整画面が表示されます。



## 色の濃さ

- 色がうすい場合： ▲ボタン
- 色が濃い場合： ▼ボタン

## 色あい

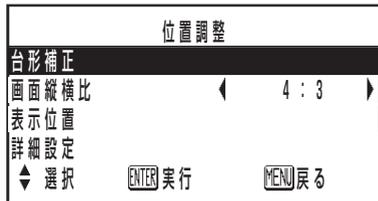
[Sビデオ/ビデオ(NTSC/NTSC4.43)/YPbPr信号入力時のみ]  
肌色の部分を調整します。

- 緑色がかった色の場合： ◀ボタン
- 赤紫色がかった色の場合： ▶ボタン

# 画面位置を調整する

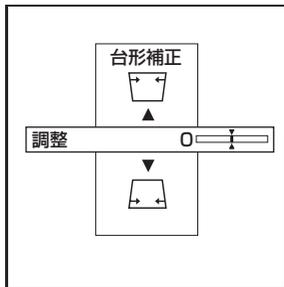
リモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。項目名のみは、エンター(ENTER)ボタンを押して次の画面を表示させます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。



## 台形補正

本機には、本機の傾きに合わせて自動的に台形ひずみを補正する機能がありますが微妙に傾けた場合やゆっくりと傾けた場合、またはスクリーンが傾いている場合は自動台形補正が正しく補正できない場合があります。このような場合は下の手順で台形ひずみを補正してください。



縦方向のみ補正できます。

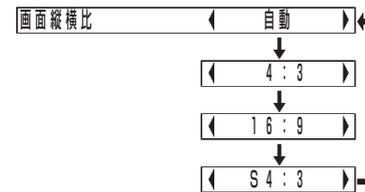
画面の状態	操作
	▲ボタンを押す。 ▶ボタンを押す。
	▼ボタンを押す。 ◀ボタンを押す。

## お知らせ

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して自動補正量と合わせて±30度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- メニュー画面に台形補正は機能しません。
- 補正量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。
- 補正量は本機の電源をオフしても記憶されますが、次に電源をオンした場合の本機の傾きが前回と異なる場合には本機の補正量は「0」にリセットされます。設置場所が変わった場合などには再度補正が必要となります。

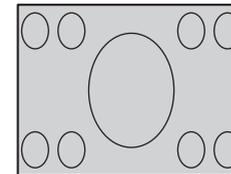
## 画面縦横比

[Sビデオ/ビデオ/YPbPr (480i, 576i, 480p, 576p) 信号入力時のみ]

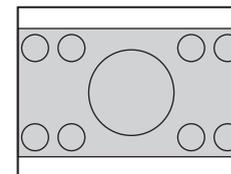


「自動」 (Sビデオのみ)  
Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

「4:3」 入力された信号をそのまま投写します。  
「16:9」 16:9に映像を圧縮して投写します。

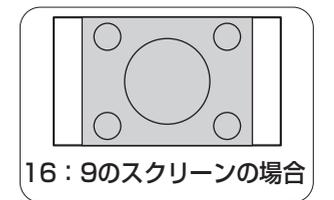
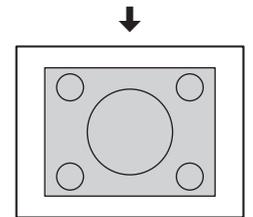
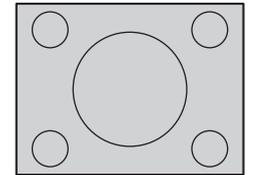


入力信号がスクイーズ(横方向に圧縮された)信号の場合



「S4:3」 入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です。)

入力信号が4:3信号の場合



16:9のスクリーンの場合

調整・設定

## S1映像信号とは

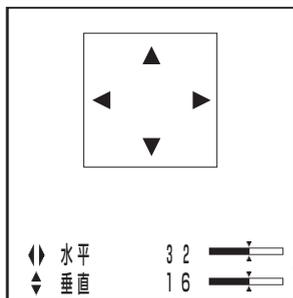
- S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- 上記の設定を「自動」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に16:9に変換して映像を投写します。

## お願い

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- アスペクト比4:3の映像をアスペクト比16:9で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、アスペクト比4:3でご覧ください。

## 表示位置

[Sビデオ/ビデオ/PC/YPbPr信号入力時のみ]  
映像の表示位置を移動させることができます。エンター (ENTER) ボタンを押してください。



◀▶ ボタンで水平位置の移動、  
▲▼ ボタンで垂直位置の移動が行えます。

## 詳細設定

画面のノイズやちらつきを補正します。エンター (ENTER) ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。

### PC/YPbPr信号時

詳細設定	
ドットクロック	32
クロックフェーズ	16
◆ 選択	ENTER 実行
	MENU 戻る

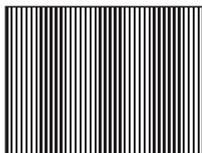
### Sビデオ/ビデオ信号時

詳細設定	
静止画モード	オフ
◀▶ 調整	MENU 戻る

## ドットクロック

[PC信号入力時のみ]

下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合には◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



## クロックフェーズ

[PC/YPbPr信号入力時のみ]

「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

## お知らせ

- ドットクロック周波数が100 MHz以上の信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。

## 静止画モード

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]  
静止画のちらつき(垂直方向のゆれ)をおさえたい場合に◀▶ ボタンで「オン」に設定してください。

## お願い

- 動画をご覧になる場合は「オフ」に設定してください。

# 本体設定

リモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンを押して設定を切り換えてください。

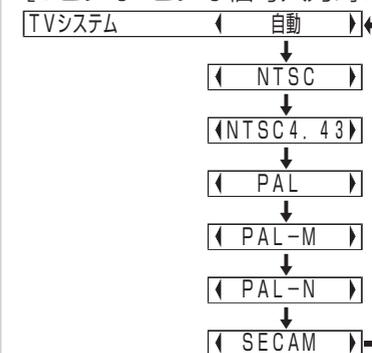
本体設定	
入力自動セットアップ	オン
TVシステム	自動
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア
高地設定	オフ
ランプ時間	10時間
SXGAモード	SXGA
本体ボタン操作	有効
ノイズリダクション	オフ
◆ 選択	◀▶ 調整
	MENU 戻る

## 入力自動セットアップ

通常は「オン」に設定してください。「オン」投写中の映像信号がPC信号入力に切りかわったときオートセットアップを行います。「オフ」投写中の映像信号が変わってもオートセットアップは行いません。

## TVシステム

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]



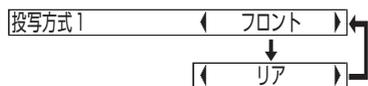
通常は「自動」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

## お知らせ

- 「自動」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/PAL-M/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

## 投写方式1

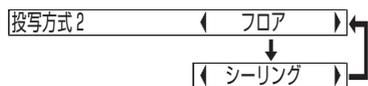
本機の設置方法によって切り換えます。(P.21ページ)



- 「フロント」 スクリーンの前方に設置する場合。  
「リア」 透過式スクリーンを使用する場合。

## 投写方式2

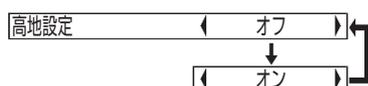
本機の設置方法によって切り換えます。(P.21ページ)



- 「フロア」 机の上などに設置する場合。  
「シーリング」 天つり金具(別売品)を使用して設置する場合。

## 高地設定

海拔1400m以上でのご使用の場合のみ、「オン」に設定してください。



## ランプ時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換する場合は、58ページのランプユニットの交換手順どおりに交換し、ランプ使用時間を「0」にしてください。

### お願い

- ランプの寿命は使用条件(電源の入切の回数など)により変わります。

## SXGAモード

[PC(SXGA)信号入力時のみ]

SXGA信号を入力時に投射映像がスクリーンからはみ出す場合に切り換えます。



- 「SXGA」 通常この設定にしてください。  
「SXGA+」 画面が切れている場合に設定してください。

## 本体ボタン操作

18ページの本体操作部にあるボタン機能を無効にすることができます。

- 「有効」 本体ボタン操作が有効になります。  
「無効」 本体ボタン操作が無効になります。「無効」に設定すると確認画面が表示されますので「実行」を選んでください。有効に戻したい場合は、リモコン操作で「有効」に設定してください。

## ノイズリダクション

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]

入力された信号が劣化しているため、映像にノイズが発生している場合に切り換えます。

- 「オフ」 ノイズリダクション機能が無効になります。通常はこの設定にしてください。  
「オン」 ノイズリダクション機能が有効になります。

# 表示言語を切り換える

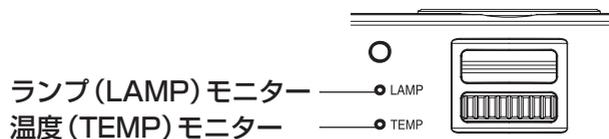
リモコンの▲▼ボタンで言語を選択し、エンター(ENTER)ボタンで決定してください。





# (TEMP) (LAMP) 温度、ランプモニターが点灯したら

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。



温度(TEMP)モニター		
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
理由・ ここをお調べ ください	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔がふさがれていませんか。</li> <li>気温の高いところで使用していませんか。</li> <li>エアフィルターが目づまりしていませんか。</li> </ul>	
処置の しかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。</li> <li>周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。[50ページの「高地設定」を「オン」に設定している場合は、周囲温度0℃～35℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。]</li> <li>28ページの手順で電源コードを抜き、エアフィルターの清掃(56ページ)を行ってください。</li> </ul>	

## お願い

- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は28ページの「電源を切る」の手順を必ずお守りください。
- 上記の処置をしても、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れる場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

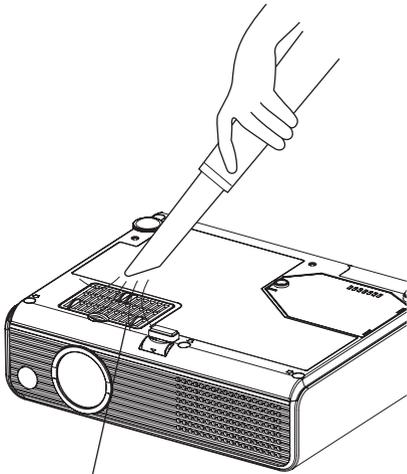
ランプ(LAMP)モニター				
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅		
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している。		
理由・ ここをお調べ ください	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を入れた時に「ランプを交換してください」というオンスクリーン表示がされていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を切ったからすぐに電源を入れなおしていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプが切れていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプ回路に異常が発生しています。</li> </ul>
処置の しかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプユニットの使用時間が2250時間に達すると点灯します。ランプユニットの交換(57ページ)を行ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプユニットの交換(57ページ)を行ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28ページの手順で電源コードを抜き、販売店にご相談ください。</li> </ul>

# エアフィルターの清掃・交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点灯し、電源が切れます。電源が切れると温度(TEMP)モニターが点滅します。掃除は約100時間を目安に行ってください。

## 清掃

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



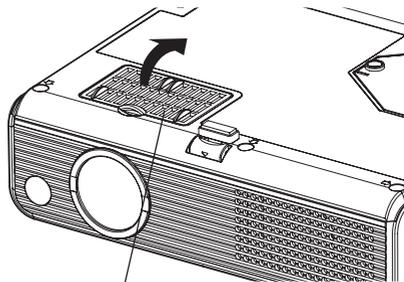
エアフィルターカバー

### お知らせ

- 掃除機ではこりが取れない場合は、右記の手順でエアフィルターを取り外し、水につけて手でほこりを洗い流してください。(中性洗剤などは使用しないでください。)
- また、乾燥させたあと、取り付けてください。
- 掃除をしてもほこりがとれなくなったならエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

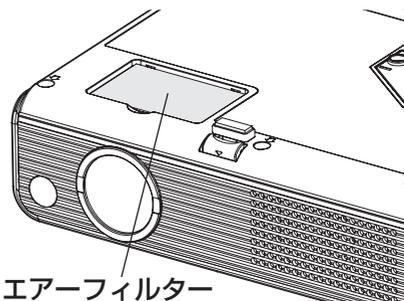
## 交換

- ①電源を切り、電源コードを抜く。  
28ページの「電源を切る」の手順を守り、電源を切ってから電源コードを抜いてください。
- ②本機を静かに裏返し、エアフィルターカバーを外す。



エアフィルターカバー

- ③エアフィルターを交換し、エアフィルターカバーを取り付ける。



エアフィルター

### お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

# ランプの交換



**警告**

- ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

## ランプユニット交換上のお知らせ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。

### お知らせ

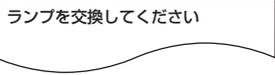
- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。  
ランプユニット品番：ET-LAP1(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

## ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は2 500時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2 500時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 500時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため約10分後、自動的に消灯します。

### お知らせ

- 2 500時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、68ページや保証書をご覧ください。

	オンスクリーン表示 	ランプ(LAMP)モニター 
2 250時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 500時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

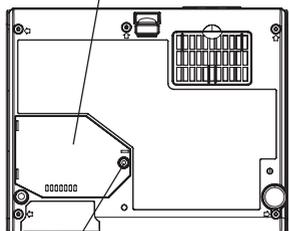
## ランプユニットの交換手順

### お願い

- ランプユニットの使用時間が2 500時間を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦～⑬の操作を10分以内に行ってください。

- 28ページの「電源を切る」の手順を守り、本機から電源コードを抜いた後、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。
- 本機底面のランプユニット収納扉固定ねじ(1本)をプラスドライバーで回し、ランプユニット収納扉を外す。

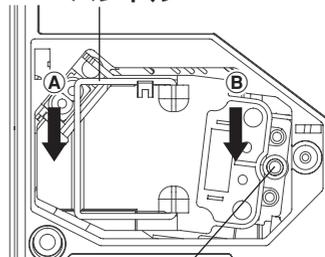
ランプユニット収納扉



ランプユニット収納扉固定ねじ

- ランプユニットを固定しているねじ(1本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。

ハンドル



ランプユニット固定ねじ

- 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。挿入時、特に①部と②部を押し込んでください。

- ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(1本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

### お願い

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

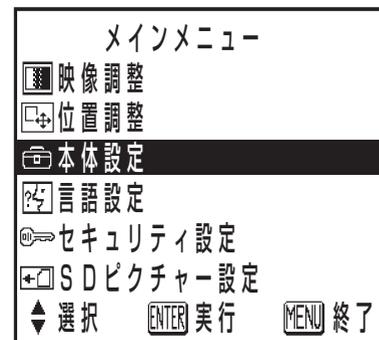
- 電源コードを接続する。

- 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。

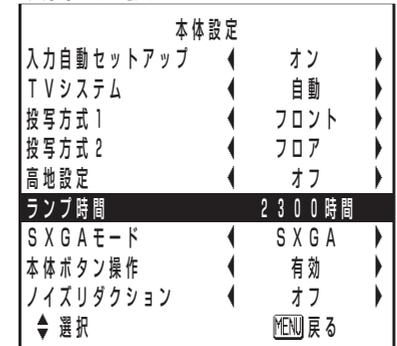
### お知らせ

- 前回投写中に電源コードを抜いて電源を切っていると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。

- メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ボタンでカーソルを「本体設定」の項目へ移動する。



- エンター(ENTER)ボタンを押し、「本体設定」画面を表示させ、▲▼ボタンで「ランプ時間」の項目を選択する。



- エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける。「ランプ時間をリセットします」の確認画面が表示されます。



- リモコンの◀▶ボタンで「実行」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。「電源OFFします」の確認画面が表示されます。



### お知らせ

- 「電源OFFします」の確認画面は、何もボタンを押さないときは約5秒後に消えます。
- メニュー(MENU)ボタンを押せば「ランプ時間をリセットします」や「電源OFFします」の確認画面を解除します。

- 電源(POWER)ボタンを押す。

- 電源ボタンが赤色に点灯したら、電源コードを抜く。ランプ使用時間が「0」にリセットされます。

# 修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>コンセントに電源がきていますか。</li> <li>温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。</li> <li>ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。</li> </ul>	— — 54、55 —
映像がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像入力は正しく接続されていますか。</li> <li>入力切り換えの設定が正しくなっていますか。</li> <li>「明るさ」が最小になっていませんか。</li> <li>本機に接続している機器は正常に動作していますか。</li> <li>シャッター機能を使用していませんか。</li> </ul>	— 27 45 — 31
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズのフォーカスは合っていますか。</li> <li>投写距離は適切ですか。</li> <li>レンズ・レンズカバーが汚れていませんか。</li> <li>本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。</li> </ul>	27 22、65 — 22
色が薄い／色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「色調整」は正しく調整されていますか。</li> <li>本機に接続している機器は正しく調整されていますか。</li> </ul>	45 —
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声入力は正しく接続されていますか。</li> <li>音量調整が最小になっていませんか。</li> <li>SD入力信号を投写中で、「音声」を「オフ」に設定していませんか。</li> </ul>	— 31 38
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池が消耗していませんか。</li> <li>電池の極性は正しくセットされていますか。</li> <li>リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。</li> <li>リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。</li> <li>蛍光灯などの影響を受けていませんか。</li> </ul>	— 25 25 25 25
本体操作部のボタンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本体ボタン操作」の設定が「無効」になっていませんか。</li> <li>「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部のSD決定(SD ENTER)ボタンを押しながら入力切替(INPUT)ボタンを2秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。</li> </ul>	50

症状	ここをお調べください	ページ
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。</li> <li>ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。</li> <li>本機が対応できない信号を入力していませんか。</li> </ul>	49 — 64
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルが長すぎませんか。</li> <li>ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例：「Fn」+「F3」あるいは「Fn」+「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)</li> </ul>	— 67

## お掃除とお手入れ

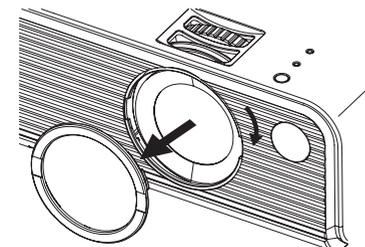
必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面やレンズカバーは毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください。レンズ面やレンズカバーにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

### レンズカバーの取り外しかた

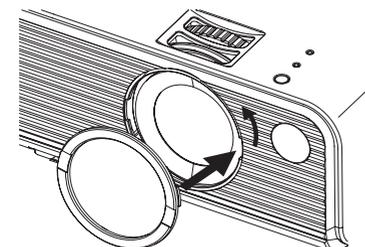


- リングを右に回して、引いてください。

#### お願い

- レンズカバーはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると割れるおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

### レンズカバーの取り付けかた



- つめをはめ込み、リングを左に回してください。

#### お願い

- お掃除とお手入れが終わりましたら、必ずレンズカバーを取り付けてください。

# 仕様

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	180 W(リモコンスタンバイ時約2 W ただし、ファン停止時)
液晶パネル	
パネルサイズ:	0.6 型(アスペクト比4:3) マイクロレンズアレイ付き
表示方式	透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
駆動方式	アクティブマトリクス方式
画素数	480 000 画素(800×600 ドット)×3 枚
レンズ	マニュアルズーム(1.2 倍)・フォーカス レンズ F 1.7~1.8、f 17.0 mm~20.4 mm
光源ランプ	130 W UHMランプ
光出力:	1 500 lm
対応走査周波数(RGB信号時)	
水平走査周波数	15 kHz~91 kHz
垂直走査周波数	50 Hz~85 Hz
ドットクロック周波数	100 MHz以下
YPbPr信号	480i、576i、480p、576p、 1 080/60i、1 080/50i、720/60p
カラー方式	7方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL- M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ	38 型~300 型
投写距離:	1.2 m~9.9 m
光軸シフト量:	4 : 1 (固定)
画面アスペクト比	4 : 3
投写方式	フロント/リア/シーリング/フロア (メニュー設定方式)
スピーカー	2.0 cm 円型 1 個
音声実用最大出力	0.5 W(モノラル)
接続端子	
PC入力端子	1 系統 高密度 D-sub 15ピン(メス)
RGB入力時	
R、G、B:	0.7 V [p-p] 75 Ω
G・SYNC:	1.0 V [p-p] 75 Ω
HD:	TTL 正/負極性自動対応
VD:	TTL 正/負極性自動対応
YPbPr入力時	
Y:	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75 Ω
PbPr :	0.7 V [p-p] 75 Ω
ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック
	1.0 V [p-p] 75 Ω
Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4ピン
	Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω

音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック×2(L-R) 0.5 V [rms]
SDメモリーカードスロット	SDメモリーカード (8MB/16MB/32MB/64MB/128MB /256MB/512MB/1GB/2GB)

電源コードの長さ	2.0 m
キャビネット	樹脂成型品(PC/ABS)
外形寸法	横幅 234 mm 高さ 65 mm (突起部は除く) 奥行 188 mm

質量	1.3 kg
使用環境条件	使用周囲温度 0 °C~40 °C (ただし、 50ページの「高地設定」を「オン」に 設定している場合は、0 °C~35 °C) 使用周囲湿度 20 %~80 % (結露の ないこと)

<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(リチウム電池1個)
操作距離	約7 m (受光部正面)
質量	32 g(電池含む)
外形寸法	横幅 54 mm 高さ 8.2 mm 厚さ 86 mm

<オプション>	
天つり金具	ET-PKP1
<p>※ 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクトの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条 件については附属書2に基づいています。</p> <p>※ この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電 圧が異なりますので使用できません。 (This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)</p>	

# 付録

## 対応信号リスト

対応信号	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9		A	S-Video/Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0		A	S-Video/Video
480i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	YPbPr
576i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	YPbPr
480p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	YPbPr
576p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	YPbPr
1 080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A	YPbPr
1 080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A	YPbPr
720/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	A	YPbPr
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	PC
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	PC
VGA480	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	PC
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	PC
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	PC
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	PC
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	PC
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	AA	PC
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	AA	PC
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	AA	PC
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	AA	PC
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	AA	PC
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	PC
XGA	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	A	PC
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	A	PC
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	A	PC
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	A	PC
	1 024 x 768i	35.5	87.0	44.9	A	PC
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A	PC
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	B	PC
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	B	PC
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	B	PC
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	B	PC
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	B	PC
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	B	PC
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B	PC
	1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	B	PC
	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	B	PC
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B	PC

\*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。

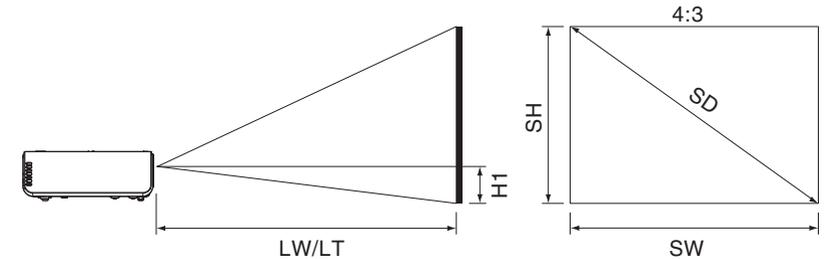
\*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。

## 投写寸法の計算式

画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。



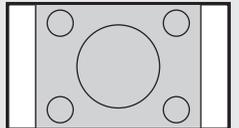
最短投写距離	$LW = 0.028 \times SD - 0.042$
最長投写距離	$LT = 0.033 \times SD - 0.043$

16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

最短投写距離	$LW = 0.031 \times SD - 0.042$
最長投写距離	$LT = 0.036 \times SD - 0.043$

### お知らせ

- 上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- ワイド型のスクリーンで画面サイズ(16:9)の投写距離に設置しているとき、オンスクリーンの画面縦横比を「4:3」に切替えると投写映像がスクリーンの上下にはみ出します。そのような場合は画面縦横比を「S4:3」に設定ください。(P47ページ)



## DCF 規格について

デジタルカメラで撮影した画像データには、DCF規格に基づいたフォルダ名やファイル名が自動的に付けられます。DCF規格には、下記のような条件があります。この条件に当てはまらない画像やフォルダは、本機で認識できません。また、パソコンでフォルダ名やファイル名を変更すると、本機で認識できなくなる場合があります。

### フォルダ(ディレクトリ)名

フォルダは、SDメモリーカード内の「DCIM」フォルダ内に作成されます。

- 「DCIM」フォルダ以外のフォルダに入っているデータについては認識されません。
- フォルダ名は、「3桁数字(フォルダ番号)+5文字の英数字」で構成されています。(例:100ABCDE)
- 3桁数字については100~999の数字、5文字の英数字については、「0123456789ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ\_(アンダーバー)」の37種類の文字から構成されています。(大文字と小文字の区別はありません。また、全角文字は認識されません。)

同じ3桁数字(フォルダ番号)の複数のフォルダを作成することはできません。  
フォルダの階層化には対応しておりません。

### ファイル名

ファイル名は、「4文字の英数字+4桁数字(ファイル番号)+.JPG(拡張子)」で構成されています。(例:ABCD0001.JPG)

- 4文字の英数字については、「0123456789ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ\_(アンダーバー)」の37種類の文字、4桁数字については0001~9999の数字から構成されています。(大文字と小文字は区別されません。また、全角文字は認識されません。)

同一フォルダ内に、同じ4桁数字(ファイル番号)の複数のファイルがあると正常に認識されません。

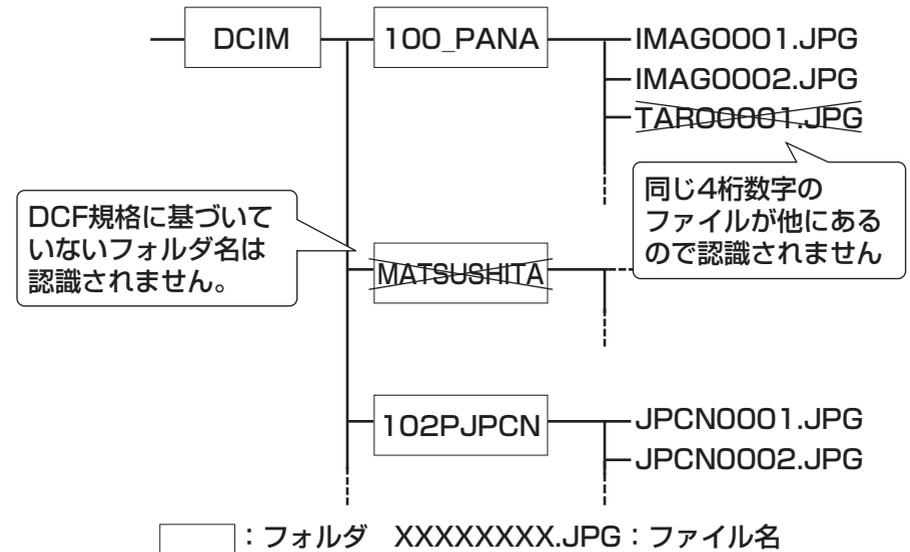
### ファイル形式

Exif2.2準拠のJPEG画像のみ対応しております。

#### お知らせ

- ImageCreator1.5で画像フォーマットを変換すると、自動的にDCF規格に基づいたフォルダ名やファイル名が付けられます。(フォルダ名は、3桁数字+PJPCN、ファイル名はJPCN+4桁数字となります。)

## フォルダ構造の例



## PC接続時のヘルプ画面について

映像出力の切り換えコマンドについては下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic NEC	<b>Fn</b> + <b>F3</b>
HP SHARP TOSHIBA	<b>Fn</b> + <b>F5</b>
IBM SONY	<b>Fn</b> + <b>F7</b>

メーカー	映像出力切り換えコマンド
DELL EPSON	<b>Fn</b> + <b>F8</b>
FUJITSU	<b>Fn</b> + <b>F10</b>
その他	<b>Fn</b> + <b>□/□</b>
Apple	<b>F7</b>

# 保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

**保証期間**：お買い上げ日から本体1年間。  
ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

## ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 修理を依頼される時

60ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。下記の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。  
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。  
**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

## ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

## ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

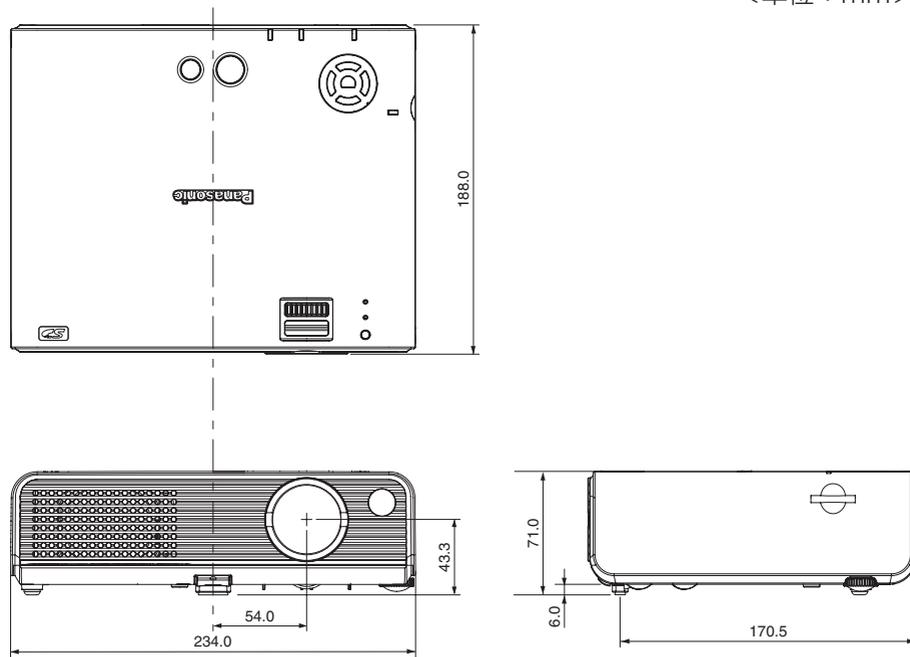


このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。  
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



# 外形寸法図

<単位：mm>



## 商標について

- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- Microsoft PowerPoint® はMicrosoft社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

S1205-0A

松下電器産業株式会社  
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 (06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

Panasonic

液晶プロジェクターTH-P1SD 取扱説明書